

原発のない社会って、誰もが機嫌よく暮らせる社会であるべきだと思う！ 差別の上にしか成り立たない原発に NO！

大量の放射線を被ばくする労働者、危険を押し付けられる地域の存在がなければならぬ原子力発電所はそもそも差別の構造を抱えています。さらにいったん事故があればこれまで生活してきた地域を破壊し、高齢者、障がい者、子どもといった「社会的弱者」への被害をより深刻化させていることは、福島原発の事故の現状を見れば明らかです。にも関わらず、この国は関西電力大飯原子力発電所の再稼働を認めるという暴挙を行いました。

私たちは、この夏、原発推進のための恫喝である「計画停電」に抗議して関西電力伏見営業所及び大手筋商店街で毎週金曜日の出勤前にビラまきを行ってきました。幸いにも「計画停電」は行われませんでした。日常生活において様々な生き辛さを抱えている人たちに大きな不安を与えました。

私たちは、私たちの暮らす街に甚大な被害を与え、とりわけでも地域で暮らす障がいがある人々の生活を破壊する原子力発電所をなくしていくことを改めて考え一緒に行動する場をつくっていききたいと思っています。

語り合う集まり

第1回「障がい者と原発」ごあんない

【日時】2012年12月2日(日曜日)

基調講演：14時～15時30分

- ① 原発推進のための「計画停電」を止めさせたいすべての人たちの声
吉田信吾さん
- ② 被災地福島での障がい者支援の現場からの報告 浅田将之さん
- ③ 伏見で暮らす障がい当事者の声 矢吹文敏さん
- ④ 福島原発告訴団・京都から 福本俊夫さん

意見交換：15時30分～17時

交流会：17時～19時30分

軽い食事をしながら、私たちの身の回りにおきていることがらをざっくばらんにお話できる機会にしませんか？

【場所】愛隣館研修センター

(伏見区向島二ノ丸町151 近鉄「向島」駅下車徒歩10分)

【主催】伏見で脱原発を考える会

【連絡先】愛隣館研修センター

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町151/電話075-621-3849